

**住宅リフォーム支援制度・
新築住宅取得支援制度を
復活させ、定住・移住
促進につなげる！**



末吉 利啓
議員

問 両制度を復活させ、それらの制度に移住者や子育て世代に対する補助率や上限額を上げるなど手厚い補助を導入すれば、さらなる定住・移住促進につながるかと考えるがどうか。

都市建設部長 さまざまな角度からの検討を行ってきたが、両制度の復活は困難と判断した。本市としては、まちの魅力や暮らしやすさを効果的にPRしていくとともに、定住化や人口の増加に向けた優良な住宅団地の供給促進や良質な空き家の活用など、実効性のある施策について検討していく。

◆史跡榊崎寺跡保存整備事業

問 同史跡の貴重な出土遺物の展示や史跡の解説は、来訪者の満足度を上げるために必要不可欠である。足利学校や鑿阿寺と並ぶ観光拠点を目指して、ガイドンス施設を整備すべきと考えるがどうか。

教育次長

榊崎寺が重要な遺跡であることは十分認識しており、その歴史の意義をわかりやすく伝える工夫は必要なことと考えている。



▲史跡榊崎寺跡

**J A足利との
協定締結について問う！**



須田 瑞穂
議員

問 本市はJA足利との間で「災害時における物資の供給等に関する協定」を締結した。協定の中に「施設の駐車場等の無償開放」が盛り込まれたのは、栃木県内及び両毛6市では本市の協定が初めてとのことであるが、具体的にどのようなメリットがあるのか。

市長 災害時において、施設周辺の住民等の一時避難先や市が災害対応する際の現地対策本部の拠点としての活用などが考えられ、本市の災害対策上、有効な対応が図れるものと考えている。

◆キッズピアあしかが

問 ことし3月、同施設に子ども映像メディアアートブースが設置された。映像を用いた体験プログラムの常設は国内初と聞いているが、オープン後の状況を聞きたい。

健康福祉部長

オープンから7月末までの累計利用者数は1万人を超える状況である。また、このブースの設置以降、キッズピアあしかがの入場者が約1割アップしている。



▲キッズピアあしかがに設置された映像メディアアートブース

**J R足利駅と駅周辺の
整備を！**



大須賀 幸雄
議員

問 同駅を足利の玄関口として整備するため、両毛線の高架化や駅の橋上化を進めてはどうか。また、東武足利市駅の「あし・ナビ」のように観光案内所を設置してはどうか。

都市建設部長・産業観光部長 高架化や橋上化には多額の費用や期間を要し、用地の問題もある。また、足利駅周辺の観光案内所については「太平記館」がその役割を果たしているが、今般、締結されたJRとの連携協定を機に、駅前の整備についてどのような取り組みが観光誘客に有効なのか協議していきたい。



▲JR足利駅北口周辺

◆ふるさと納税制度

問 同制度の返礼品をイチゴ狩り体験やあしかがフラワーパークの入場券にすれば、足利に来てもらい、本市の魅力伝えることにつながると思うがどうか。

市長

物を送るのではなく、体験してもらい足利に足を運んでもらうという考え方であれば、本来のふるさと納税制度の趣旨に逸脱しないと考える。返礼品については、このような工夫の余地がないか検討していきたい。